

平成27年度

事業報告書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、地域福祉実践計画（以下「計画」）に基づき「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指して運営し事業を進めています。

平成16年度からの第1期計画、平成22年度からの第2期計画に続き、平成27年度からは第3期計画（平成31年度まで）がスタートしました。

平成27年度は、計画の初年度として、関係機関・団体との協働により、くらしサポートセンターえべつ（以下「くらしサポ」）の設置や市民後見人養成講座の開催など、新規事業に取り組むとともに、身近な地域での生活支援やボランティア活動の推進など様々な事業活動を積極的に展開しました。

以下、事業の実績について報告します。

目次

基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備	1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	5
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	9
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	12
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	14
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	17
★	会務の運営、基本計画以外の主な活動	24

基本計画 1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 地域の福祉課題の把握

平成28年度のアンケート調査に向け、第3期地域福祉実践計画推進の懸案事項や法律改正による制度改革の中での当協議会の役割など、その内容について検討しました。

(2) 広報活動による福祉情報の提供

① 社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行（発行1回につき約42,000部）し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、公共施設への配置や関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真の活用、拡大版の作成など、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、ボランティアセンター登録団体の点字ろくの会の協力を得て、誌面を点字化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

② ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新に努めました。

【アクセス件数】 7,508件

③ 社協事業活動の説明

当協議会ボランティアセンター登録団体を中心に関係機関・団体の会議に積極的に出向き、「社協紹介パンフレット」を活用し、当協議会の事業内容などについて説明し、理解が深まるよう努めました。

【説明先】江別更生保護女性会、江別認知症の人の家族を支える会、ボランティアグループあすか会、江別市家庭問題研究会、江別市赤十字奉仕団、江別ロータリークラブ、江別グリーンライオンズクラブ、傾聴ボランティア養成研修、市民後見人養成講座など

(3) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか現地へ出向くなど適切な対応に努めました。

- 【具体例】・給食サービスの遅配、味付けなどに関すること
- ・除排雪など様々な困りごとに関すること

(4) 生活課題に対応した総合的な相談支援

① 生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）

市からの事業受託に伴い、相談支援員2名体制によるくらサポを開設し運営しました。

事業の周知を図るとともに、様々な悩みを抱えている方々からの相談を受け、関係機関・団体と連携し、必要な制度を活用しながら相談者の自立に向けた支援を行いました。

また、相談スペースを確保するため、市の予算措置により、総合社会福祉センター1階小会議室を相談室に改修・整備し、平成28年3月から使用を開始しました。

【相談支援実績】 新規相談件数：320件 支援延べ回数：1,878回
プラン作成件数：25件 継続支援件数：35件

【支援調整会議】

市所管課（福祉課）担当職員と、くらサポ相談支援員が事業の進め方や相談内容への対応などについて協議しました。

開催回数 37回

【事業説明先】

地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会、江別市女性団体協議会の会議・研修など61カ所

【くらサポカフェの開催】

社会的なつながりが必要と思われる方に対し、社会参加のきっかけとなる場を提供するとともに、ひきこもりの子どもを持つ親からの相談を受けるなど、くらサポにつながらないケースの相談の機会として開催しました。

ア) 第1回

開催日 平成27年7月27日（月）
場 所 コミュニティカフェ笑くぼ
内 容 就職活動における心構え
講 師 岩見沢地域若者サポートステーション
統括コーディネーター 荒井 外郎 氏
参加者数 5人

イ) 第2回

開催日 平成27年10月26日（月）
場 所 江別市総合社会福祉センター
内 容 映画鑑賞（くらサポシアター）
フリートーク

参加者数 6人

ウ) 第3回

開催日 平成28年2月17日(水)

場所 すずらん病院カフェテリア

内容 家族懇談会

講師 すずらん病院院長 安田 素次 氏

参加者数 10人

② 権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施

北海道社会福祉協議会(以下「道社協」)から受託して行っている本事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員(いずれも職員兼務)及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 19件(新規6件) (前年度比4件増)

【生活支援員登録者数】 15人(新規4人) (前年度比4人増)

イ) 成年後見制度の利用促進への協力

高齢者や障がいのある方が地域で安心して生活する権利を守る制度として今後ますます需要が見込まれる成年後見制度において、特に、身近な地域の支え合いの仕組みとして普及していくことが必要な「市民後見人」について、市から養成講座開催運營業務を受託(期間:平成27年9月14日~12月31日)し、事前説明会と養成講座を行いました。

【事前説明会】

開催日 平成27年10月25日(日)

開催内容 専門講師による成年後見制度・市民後見人の必要性に関する講演及び当協議会、市職員による養成講座カリキュラム・受講者募集の説明

参加者数 64人

【養成講座】

開催期間 平成27年11月14日(土)~12月6日(日)

開催内容 座学5日、市民講演会聴講1日、その他市内福祉施設での地域実習、レポート作成、札幌家庭裁判所見学

*座学業務は、国立大学法人東京大学(コミュニティ意思決定支援プロジェクト)に委託

受講者数 32人

【市民後見人候補者登録数】

受講修了者のうち、市に31人が登録

③ 生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸し付けを行い、日常生活の支援に努めました。

また、相談の複雑化などに対応するため、26年度に引き続き生活資金相談員を配置し、円滑な業務の推進に努めました。

【相談者件数】

区 分	27年度	26年度	増減
生活福祉資金	延130件	延107件	延23件
福祉金庫	延132件	延92件	延40件
電 話	延137件	延171件	△延34件
計	延399件	延370件	延29件

ア) 生活福祉資金の貸付

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】

※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	27年度	26年度	増減
福祉資金	2件 237,000円	2件 2,627,000円	0件 △2,390,000円
教育支援資金	5件 1,865,000円	2件 5,069,000円	3件 △3,204,000円
緊急小口資金	4件 354,000円	5件 446,000円	△1件 △92,000円
総合支援資金	3件 1,100,000円	0件 0円	3件 1,100,000円
計	14件 3,556,000円	9件 8,142,000円	5件 △4,586,000円

イ) 特別生活資金の貸付

道社協の「特別生活資金貸付事業」の取り扱い窓口として、冬期の生活を確保する資金の貸し付けですが、平成27年度は実績がありませんでした。

【貸付実績】

区 分	27年度	26年度	増減
貸付件数	0件	2件	△2件
貸付金額	0円	100,000円	△100,000円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	27年度	26年度	増減
貸付件数	95件	91件	4件
貸付金額	3,710,000円	3,610,000円	100,000円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

また、「幸せな社会」に具体的な相談事例を掲載し、より市民が利用しやすくなるようにPRしました。

【協力団体】 江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】 81件（前年度比12件増）

基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区 分	登 録 状 況		増 減
	27年度	26年度	
団 体	49団体 1,615人	46団体 1,534人	3団体 81人
個 人	157人	151人	6人
合 計	1,772人	1,685人	87人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設や障がい児者施設などでの行事、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活動区分	延活動人数(人)		増減(人)
	27年度	26年度	
高齢者施設	3,898	3,648	250
障がい者施設・団体	789	425	364
認知症高齢者	1,445	1,621	△176
託児	104	53	51
在宅高齢者・障がい者支援	1,049	1,193	△144
相談	150	132	18
その他	235	152	83
合計	7,670	7,224	446

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 3,865人

(登録ボランティア:1,505人/愛のふれあい活動:1,266人/自己加入者1,094人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や民間助成金の交付手続きを行いました。

◆団体への活動助成金 48団体 1,083,500円

◆民間助成金団体

・北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金

「札幌斎藤支部門人会大麻千鳥会」「たすけあいサークルよつば会」

「朗読ボランティアグループまちの灯」「風の子文庫」

「江別市水上安全赤十字奉仕団」の5団体に助成

ウ) 北海道新聞社会福祉振興基金「道新ボランティア奨励賞」の決定

当協議会で推薦した「まちの灯」が、長年にわたる朗読奉仕活動を通じた地域社会への貢献が認められ、「道新ボランティア奨励賞」の一般奨励賞を受賞しました。

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し、市民にお知らせしました。

【総会及び役員会・講演会】

開催日 平成27年5月27日（水）
場 所 総合社会福祉センター
講演会 「コミュニケーションを通して自分を磨く」
～魅力ある人に～
講師：株式会社マイ・プロモーション
代表取締役 檜 木 泰 子 氏

(2) ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

ボランティア活動者に参加をいただき、活動の充実を図ることを目的として開催しました。

【開催内容】

開催日 平成28年1月27日（水）
場 所 総合社会福祉センター
参加者数 22人
研修内容 江別市オリジナルエクササイズ「Eリズム」基本の習得
講師：一般社団法人地域ウェルネスネット
インストラクター 北村 和也 氏 兼村 春子氏
江別市保健センター 小野 景子 氏

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 第11期養成研修

日 程 平成27年11月2日（月）～12日（木）の期間中、5日間
（17時間）の講義、実習
場 所 総合社会福祉センター、老健のつぼろ（実習施設）
講 師 シニア・ピア・カウンセラー 松坂 志津枝 氏
受講者数 14人

イ) 実行委員会

【第1回】

開催日	平成27年11月12日(木)(養成研修閉講日)
場所	総合社会福祉センター
内容	社会福祉協議会、傾聴ボランティア事業の概要説明、傾聴ボランティア認定証交付
参加者数	14人

【第2回】

開催日	平成28年3月16日(水)
場所	総合社会福祉センター
内容	傾聴の基本、グループワーク
講師	シニア・ピア・カウンセラー 松坂 志津枝 氏
参加者数	14人

ウ) ステップアップ研修(全道傾聴フォーラムへの参加)

開催日	平成27年10月25日(日)
場所	かでの2.7
内容	基調講演「傾聴とは聴き切ること」 基調講演後、5つの分科会に別れて参加
参加者数	26人

エ) 活動実績(再掲)

17個人・31施設に対し、延べ2,935人(前年度比107人増)が活動しました。

③ フレンティア(社交ダンスボランティア)スキルアップ研修の開催及び普及活動

社交ダンスを通じて、高齢者や障がいのある方々の健康の保持増進、生涯学習と社会参加及び*ノーマライゼーションの推進を図ることを目的に、当協議会が認定するフレンティア(社交ダンスボランティア)が障がい者団体の行う福祉ダンスの派遣要請に協力しました。また、フレンティア養成研修修了者を対象に、ダンスの基礎確認や技術向上を目的にスキルアップ研修を開催しました。

***ノーマライゼーション**: 高齢者や障がい者などを含む全ての人々が、地域で安心して生活をし、活動できる社会づくりの考え方。

【研修内容】

日程	平成27年8月22日(土)～9月19日(土)の期間中、 9日間(45時間)の実技
場所	総合社会福祉センター

講 師 江別SD・Iの会会員

受講者数 14人

基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりやきずなを深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

折にふれて自治会に「地域交流の集い活動事例集」や「社協紹介パンフレット」などを活用し、当事業への取り組みについて働きかけをした結果、愛のふれあい活動の実施自治会数、地域交流の集い活動の実施自治会数及び事業数が増加しました。

① 愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数 (自治会)			対象世帯数 (世帯)			ボランティア延人数 (人)		
	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減
江 別	24	23	1	652	534	118	1,131	1,115	16
野 幌	34	33	1	602	591	11	1,312	1,311	1
大 麻	33	32	1	777	632	145	2,835	2,273	562
合 計	91	88	3	2,031	1,757	274	5,278	4,699	579

② 地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数 (自治会)			実施事業数 (回)		
	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減
江 別	30	29	1	116	111	5
野 幌	31	30	1	113	111	2
大 麻	37	37	0	134	124	10
合 計	98	96	2	363	346	17

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

① 赤い羽根共同募金運動への協力

10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 9,195,012円（前年度比48,987円減）

★当協議会への共同募金助成状況

区分	事業名	助成額（円）		
		27年度	26年度	増減
市町村 地域 助成	愛のふれあい交流事業	250,000	250,000	0
	ボランティア団体育成	240,000	240,000	0
	ボランティア団体連絡会運営	41,000	41,000	0
	ボランティア活動者研修	18,000	18,000	0
	傾聴ボランティア養成研修	59,000	59,000	0
	傾聴ボランティアステップアップ研修	18,000	18,000	0
	フレンチア養成研修	27,000	27,000	0
	いきいきシニアスクール	27,000	27,000	0
	江別ふれあい福祉の広場	176,999	250,000	△73,001
	広報誌「幸せな社会」発行	700,000	700,000	0
季節保育所運営	0	83,456	△83,456	
道地域 助成	ワークキャンプ	120,000	120,000	0
	行事用テント（天幕）購入	36,350	35,250	1,100
合計		1,713,349	1,868,706	△155,357

② 歳末たすけあい運動への協力

12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、平成27年12月21日（月）、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 5,304,173円（前年度比35,612円減）

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区分	27年度		26年度		増減	
	世帯数（世帯）	見舞金額（円）	世帯数（世帯）	見舞金額（円）	世帯数（世帯）	見舞金額（円）
生活支援世帯	650	3,250,000	643	3,395,000	7	△145,000

★福祉事業への助成状況

助成先	27年度		26年度		増 減	
	団体数(団体)	助成金額(円)	団体数(団体)	助成金額	団体数(団体)	助成金額(円)
障がい児・者団体 及びその家族会	5	252,000	5	262,000	0	△10,000
地域福祉推進団体	2	71,000	2	71,000	0	0
合 計	7	323,000	7	333,000	0	△10,000

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

事 業 名	助成額(円)		
	27年度	26年度	増 減
ハーフデイボランティアスクール	100,000	100,000	0
除雪派遣サービス	871,785	1,200,000	△328,215
生活支援世帯援助	0	200,000	△200,000
歳末たすけあい事業推進	0	119,962	△119,962
合 計	971,785	1,619,962	△648,177

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

障がい者団体、福祉団体及びボランティア団体などの参画により開催し、多くの市民が集いました。

また、市の「地域イベントへの職員派遣モデル事業」として、江別ふれあい福祉の広場の準備及び当日開催業務に市職員5人を受け入れました。

開 催 日	開 催 場 所	来場者数
平成27年7月18日(土)	江別市東野幌体育館	約100人
平成27年7月19日(日)	江別市総合社会福祉センター	約5,000人

【内 容】

- ◆ふれあいスポーツレクリエーション（玉入れ／みんなでオセロ／ボール運びリレー／つなひき／よさこい&フォークダンス／しっぽ取りゲーム）
- ◆ふれあい福祉の広場
 - ・社会福祉功労者顕彰（P24参照）並びに赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金交付
 - ・ふれあいバザー ・ふれあい演芸大会 ・ふれあいピアガーデン
 - ・ふれあいコーナー ・共同募金寄付金グッズを活用した募金活動など

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

◆活動備品の貸出

- ・テント 5自治会 14施設 19団体
- ・机 8自治会 19施設 15団体
- ・椅子 6自治会 19施設 12団体
- ・炊き出し釜 2自治会

◆社会貢献活動への協力

- ・札幌整備振興会江別支部、北海道自動車軽自動車商業組合江別支部、全日本ロータス同友会札幌支部（車椅子無料点検）
- ・北海道コカコーラ株式会社（清涼飲料水贈呈）
- ・ロータリークラブ、西ロータリークラブ、北洋銀行江別中央支店など（共同募金えべちyunバッチ購入）
- ・湯の花えべつ殿（未使用タオル贈呈）
- ・江別消費者協会（消費者のひろば開催）
- ・北海道中小企業家同友会札幌支部（地域創生シンポジウム開催）

基本計画 4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

自治会役員などを対象に、地域活動に活かせるレクリエーション技術を自ら体験しながら習得していただき、「愛のふれあい交流事業」などに役立てていただくことを目的に研修会を開催しました。

【開催内容】

- | | |
|-------|---|
| 開催日 | 平成28年3月17日（木） |
| 場所 | 総合社会福祉センター |
| 内容／講師 | 体験学習
すぐに使えるレクリエーション／江別レクリエーション協会
江別市オリジナルエクササイズ「Eリズム」／江別市保健センター |
| 参加者数 | 41人（21自治会） |

(2) 福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ（福祉施設介護体験学習）の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、支え合う心の大切さを学ぶ機会として食事介助、アイマスクを着用しての歩行体験、施設利用者との交流などを行いました。

【開催内容】

開催期間	参加者数	場所
平成27年7月29日（水）～30日（木）	2人	恵明園
平成27年8月3日（月）～4日（火）	1人	静苑ホーム
平成27年8月6日（木）～7日（金）	2人	友愛ナーシングホーム
計	5人	（前年度比参加者数11人減）

② ハーフデイボランティアスクールの開催

小・中・高生を対象に、福祉施設の協力を得て、施設に対する理解を深め、ボランティア活動に取り組むきっかけとなることを目的に開催し、施設利用者との交流、作業体験を行いました。

【開催内容】

開催日	参加者数	場所
平成27年12月5日（土） （前年度比参加者数7人増）	2人	恵明園
	7人	静苑ホーム
	5人	友愛ナーシングホーム
	2人	ハビタットのつぼろ
	7人	えべつ明友荘
	1人	あすか就労継続支援施設
計	24人	

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸し出しやボランティア派遣を通して協力しました。

◆体験用具の貸出

- ・疑似体験セット 小学校5校
- ・車椅子 小学校12校
- ・アイマスク 小学校4校

◆ボランティア派遣

- 小学校3校
- 幼稚園1園

◆社協職員による総合的な学習の時間への協力

- 小学校3校（6回）

◆施設見学の調整

- 小学校1校

(4) いきいきシニアスクールの開催

江別市シルバーウィークの一環として、高齢期に生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送る一助となることを目的に開催しました。

【開催内容】

開催日	平成27年9月9日（水）
場 所	総合社会福祉センター
内 容	テーマ「成年後見制度について～自分のために・みんなの安心」
講 師	NPO法人さいわい成年後見センター 副理事長 森田 弘之 氏
参加者数	江別市高齢者クラブ連合会関係者 70人

基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

① 福祉除雪サービスの実施（市受託事業）

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道（車道）除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 平成27年12月1日～平成28年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内（追加料金は1間口12,200円）

種 別	市からの助成金	利用者自己負担額	合 計
市・道民税非課税世帯	22,190円	13,450円	基本料金 35,640円
同均等割課税世帯	17,190円	18,450円	
同均等割・所得割課税世帯	12,190円	23,450円	

【実施状況】

地 区	27年度（世帯）		26年度（世帯）		増 減 （A－B）
	利用世帯数(A)	(Aの内、新規)	利用世帯数(B)	(Bの内、新規)	
江 別	287	(48)	270	(48)	17
野 幌	277	(52)	267	(52)	10
大 麻	218	(43)	214	(43)	4
合 計	782	(143)	751	(143)	31

② 除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約や自治会、知的障がい者施設などの協力に加えて、独自に作業員の確保も行い、利用対象全世帯にサービスを提供しました。

【実施状況】

地 区	利用世帯数（世帯）		
	27年度	26年度	増減
江 別	54	49	5
野 幌	54	54	0
大 麻	63	58	5
合 計	171	161	10

③ 「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業所別に記載した情報誌を発行するとともに、雪処理を行う事業者一覧を「幸せな社会」に掲載しました。また、情報誌を公共施設などに配置したほか、自治会の協力を得て、回覧するなど、きめの細かい情報提供を行いました。

【掲載事業者数】 28事業者掲載（前年度比1事業者減）

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施（市受託事業）

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配送時に安否確認を行い消防など関係機関と連携し、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地 区	利用数	ひとり暮らし世帯（世帯）			高齢夫婦世帯（世帯）			障がい者世帯（世帯）			高齢者+障がい者（世帯）			合計（世帯）		
		27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減
江 別	世帯数	94	95	△1	11	7	4	3	8	△5	0	0	0	108	110	△2
	食数	94	95	△1	22	14	8	3	8	△5	0	0	0	119	117	2
野 幌	世帯数	73	72	1	4	12	△8	3	3	0	0	1	△1	80	88	△8
	食数	73	72	1	8	24	△16	3	3	0	0	3	△3	84	102	△18
大 麻	世帯数	67	63	4	7	11	△4	6	6	0	2	2	0	82	82	0
	食数	67	63	4	14	22	△8	6	6	0	4	4	0	91	95	△4
合 計	世帯数	234	230	4	22	30	△8	12	17	△5	2	3	△1	270	280	△10
	食数	234	230	4	44	60	△16	12	17	△5	4	7	△3	294	314	△20

【年間配食実績】 79, 741食（前年度比1, 058食増）

(3) 障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 20人 ガイドヘルプ利用者数 20人

【利用実績】

利 用 内 容	件数 (件)		
	27年度	26年度	増減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	327	337	△10
医療機関への相談又は受診	237	133	104
公的施策などによって開催される研修・講座への参加	4	2	2
一般市民向けの各種行事への参加	16	20	△4
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	208	174	34
奉仕活動のための外出	11	13	△2
児童の外出の手助け	51	86	△35
学校行事への参加	0	0	0
その他の外出	108	84	24
合 計	962	849	113

(4) 福祉機器の貸与

① 福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福 祉 機 器	保有台数 (台)	貸与件数 (延貸与月数) (件)		
		27年度	26年度	増減
車 椅 子	189	1,456	1,562	△106
介護用手動ベッド	28	158	166	△8
介護用電動ベッド	61	567	594	△27
歩 行 器	39	168	129	39
計	317	2,349	2,451	△102

② 福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しました。

【設置状況】

区 分	江別地区 (件)	野幌地区 (件)	大麻地区 (件)	合計 (件)
26年度までの設置数	5	6	1	12
27年度設置数	0	2	1	3
27年度返却数	△1	0	△1	△2
計	4	8	1	13

(5) 北光保育園・野幌季節保育所の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園及び野幌季節保育所を運営しました。

特に、市が平成25年度に定めた都市と農村の交流拠点施設基本構想に基づき、設置を計画している都市と農村交流拠点施設に併設される子育て支援施設（北光保育園）の保育室のスペースや設備などについて、平成26年度に続いて市と協議を行いました。

また、父母会からの要望により、本年度から北光保育園の冬期間（12月～3月）の平日の保育時間を延長しました。

【保育児童数】

区分 保育所名	27年度年齢別保育児童数 (人)					26年度 計(人)	増減 (人)
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
北光保育園	12	14	6	12	44	41	3
野幌季節保育所	3	4	3	1	11	11	0
合計	15	18	9	13	55	52	3

基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を發揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

① 行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ◆市所管課（福祉課）担当職員とくらサポ相談支援員が毎週事業の進め方や相談内容などについて支援調整会議を開催し協議【再掲】

- ◆懸案であったくらサポ相談室の整備について協議し予算措置が決定。整備工事を実施し、平成28年3月から使用開始【再掲】
- ◆くらサポの体制整備についても協議し、平成28年度からくらサポ相談支援員を1人増員（2人→3人）する予算措置が決定
- ◆市民後見人養成講座を円滑に開催するため、必要に応じて協議
- ◆市の「地域イベントへの職員派遣モデル事業」の内容について協議し、江別ふれあい福祉の広場へ職員5人受け入れ【再掲】
- ◆第2期江別市総合社会福祉センター改修等年次計画で予定されている平成28年度の電灯分電盤・動力制御盤及び消防用設備などの改修について、工事内容や経費について協議し、予算措置が決定
- ◆都市と農村交流拠点施設に併設される北光保育園のスペースや設備などの詳細内容について協議、平成28年度に移転する費用の予算措置が決定

② 部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会 議 名	開催回数	開催年月日
合同（総務・地域福祉）部会	2回	H27. 9. 15 H28. 2. 23
広報編集委員会	4回	H27. 6. 8 H27. 9. 7 H27. 12. 7 H28. 3. 7
福祉金庫管理委員会	1回	H27. 6. 1

③ 役職員などの研修・資質向上

ア) 役員・評議員研修の実施

役員・評議員が当協議会事業の内容について理解を深める機会として開催しました。

【開催内容】

実施日	平成27年10月7日（水）・8日（木）
研修テーマ	「江別市社協における相談支援事業の実際と体制について」
研修内容	事務局職員によるくらサポ、日常生活自立支援事業の仕組みと現状及び総合的な相談支援体制の必要性についての説明と意見交換
参加者数	50人

イ) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

【参加研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
平成27年度法人役員研修	H27.11.11	札幌市	4人

ウ) 職員の資質向上

当協議会の課題について、調査・研究することを目的に、職員の自主性を重視した研修年次計画を策定し、その計画に基づき研修を行うとともに、道社協主催研修会などに職員を派遣し、資質向上に努めました。

【研修年次計画に基づく研修】

研 修 日 平成28年3月24日(木)

研修職員数 1人

研修テーマ 「高齢者・障がい者の総合的な権利擁護体制の構築」

研 修 先 石狩市成年後見センター

【主な派遣研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
全道生活困窮者自立支援事業研究協議会	H27.6.3	札幌市	2人
安全運転管理者講習	H27.6.16	江別市	1人
全道新任社協職員研修会	H27.6.17	札幌市	2人
生活福祉資金貸付事業研修会	H27.6.23	〃	2人
石狩管内社協職員連絡協議会総会及び研修会	H27.7.3	千歳市	4人
	H27.9.17	〃	3人
	H28.3.7	札幌市	2人
北海道社協職員連絡協議会総会	H27.8.3	〃	1人
生活困窮者自立支援制度主任相談員養成研修	H27.7.14	東京都	1人
	H27.8.24	〃	1人
町内会活動実践者研修会	H27.8.5	札幌市	1人
市民後見人養成講座視察研修	H27.8.19	旭川市	1人
	H27.8.26	岩見沢市	1人
	H27.8.27	札幌市	1人
多重債務相談等に係る勉強会	H27.8.26	〃	1人

災害救援活動の支援に関する協定締結済社協連絡会議	H 2 7 . 9 . 3	札幌市	1 人
日常生活自立支援事業の事業実施に関する説明会	H 2 7 . 1 0 . 2 0	〃	1 人
生活困窮者自立支援事業実践研修	H 2 7 . 1 0 . 2 7	〃	1 人
安心・安全・福祉のまちづくり推進セミナー	H 2 7 . 1 1 . 1 6	〃	2 人
石狩地区・地区別課題対応会議	H 2 7 . 1 1 . 2 4	〃	2 人
生活困窮者自立支援シンポジウム	H 2 7 . 1 1 . 2 7	〃	1 人
生活困窮者自立支援就労準備支援事業視察研修	H 2 7 . 1 2 . 7	釧路市	1 人
日常生活自立支援事業自立生活支援専門員研修会	H 2 7 . 1 2 . 1 0	札幌市	1 人
一時生活支援事業実践報告企画シンポジウム	H 2 8 . 2 . 1 0	〃	1 人
石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修	H 2 8 . 3 . 7	〃	2 人
権利擁護人材セミナーフォローアップ研修会	H 2 8 . 3 . 1 8	〃	1 人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	2 7 年度	2 6 年度	増減	
第 1 種会員会費 (世帯会費)	38,284 世帯	38,120 世帯	164 世帯	1 世帯 年額 300 円
第 2 種会員会費 (施設会費)	3 9 施設	4 3 施設	△ 4 施設	50 名未満 5,000 円 50 名以上 7,000 円 100 名以上 200 名未満 10,000 円
第 3 種会員会費 (団体会費)	8 1 団体	8 3 団体	△ 2 団体	1 団体 3,000 円 * ボランティアセンター登録団体は人数による
第 4 種会員会費 (特別会費)	6 9 5 個人・事業所	6 7 9 個人・事業所	16 個人・事業所	1 口 1,000 円以上
合 計	39,099 件	38,925 件	174 件	

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用するとともに、利息1,044,000円を各種地域福祉事業に充当しました。

【元金積立及び運用内訳】

積立・寄付状況	金額(円)	運用内訳(27年度末)
26年度までの元金積立額①	145,282,794	政府保証債(年利率1.662%) 100,000,000円
27年度寄付金受入額②	1,616,969 内訳・篤志寄付1,557,856 ・つもり寄付 59,113 寄付件数 89件	地方債(年利率0.51%) 30,000,000円 金融機関預金 16,899,763円
27年度末元金積立額③ (①+②)	146,899,763	【内訳】 定期預金(年利率0.03%) 10,000,000円 定期預金(年利率0.025%) 5,625,277円 普通預金(年利率0.02%) 1,274,486円

③ 共同募金からの助成金の確保(P10~11参照)

④ 一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として活用し、特に、江別市高齢者クラブ連合会女性部からの寄付金25万円で電動ベット1台・車椅子3台、江別ロータリークラブからの寄付金18万円で電動ベット1台を購入しました。

また、財団法人札幌信用金庫社会福祉基金から10万円が寄付され、在宅福祉サービス、ボランティア活動の促進に役立てました。

【寄付取扱実績】 件数 47件 寄付金額 1,072,181円

⑤ 各種事業コストの検討

(3)「事務事業の改善」と一体的に検討・実施しました。

北光保育園の冬期間の保育時間延長に伴う保育料の改定、事務室内コピー機を更新し新たなリース契約締結による経費削減、更に、総合社会福祉センター内の節電対策の継続など利用者負担の適正化や事務経費の効率化に努めました。

(3) 事務事業の改善

事務局評価などを通して、事務事業の内容を精査し、改善に努めました。

【主な改善事項】

- ・くらサポ相談室の整備【再掲】
- ・北光保育園の冬期間（12月～3月）の平日の保育時間について、26年度までの午後2時から午後5時に延長【再掲】
- ・事務室内コピー機を更新し新たなリース契約締結による経費削減と事務の効率化【再掲】
- ・総合社会福祉センター貸室の備品（机・椅子など）入替による利用環境の整備
- ・マイナンバー関連の規程類及び対策について整備・実施

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設として、また、高齢者が集う交流の場として運営しました。

利用者の理解と協力を得て、照明の間引きなどの節電にも引き続き取り組みました。【再掲】

更に、施設の長寿命化を図るため、平成23年度に策定した「第2期江別市総合社会福祉センター改修等年次計画」に基づく平成28年度の電灯分電盤・動力制御盤・消防用設備・2階交流室改修費及び重油地下タンク内面コーティング工事実施に向けて市と協議を行うなど準備を進めました。【再掲】

【月別利用状況】

月	利用者数（人）			月	利用者数（人）		
	27年度	26年度	増減		27年度	26年度	増減
4	4,540	4,481	59	10	4,935	4,902	33
5	4,355	4,430	△75	11	4,237	3,853	384
6	4,361	4,263	98	12	3,979	3,718	261
7	3,837	3,511	326	1	3,537	3,155	382
8	3,482	3,649	△167	2	3,602	3,273	329
9	4,148	3,595	553	3	3,837	3,770	67
計					48,850	46,600	2,250
累計（昭和57年度～平成27年度）					2,068,371人		

(5) 防災・災害対策の推進

社協事業活動の説明や各種イベントで災害ボランティアセンター運営マニュアル概要版を配布し、当協議会の災害時の役割についてPRに努めました。

更に、平成27年9月3日（木）開催の道社協主催「災害救援活動に関する協定締結済社協連絡会議」に職員を派遣し、大きな災害発生時の社協間の連絡や情報収集の手順について理解を深めました。

また、平成28年3月16日（水）には、総合社会福祉センター利用者の協力を

得て、災害発生時の身体の安全と人命確保を目的としてシェイクアウト訓練及び消防訓練を実施しました。

(6) 地域福祉実践計画の進行管理

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・47個別実践事業について、平成27年度1回目の評価を実施しました。

くらすポの設置や市民後見人養成講座などの新規事業に取り組んだことなどにより、基本計画では、4計画で「評価4」、個別実践事業では、47事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内「評価4」が22事業でした。

第3期計画の初年度として、全般にわたり、まずは、順調な滑り出しと評価されました。

なお、27年度の最終評価は、平成28年9月頃実施予定です。

【基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果
基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備 [生活困窮者自立支援事業など12事業] 5 4 3 2 1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり [ボランティア活動の基盤整備など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動 [愛のふれあい活動など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 [ワークキャンプの開催など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 [給食サービス事業など7事業] 5 4 3 2 1
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり [社会福祉基金の積立・運用など13事業] 5 4 3 2 1

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

① 三役会（会長・副会長・常務理事会議） 13回

開催日	開催日	開催日
平成27年 4月10日(金)	平成27年 9月10日(木)	平成28年 1月14日(木)
平成27年 5月14日(木)	平成27年10月28日(水)	平成28年 2月 8日(月)
平成27年 6月17日(水)	平成27年11月17日(火)	平成28年 2月29日(月)
平成27年 7月10日(金)	平成27年12月 9日(水)	平成28年 3月17日(木)
平成27年 8月 7日(金)		

② 理事会 6回

開催日	開催日	開催日
平成27年 5月25日(月)	平成27年12月18日(金)	平成28年 2月29日(月)
平成27年10月 7日(水)	平成28年 2月19日(金)	平成28年 3月28日(月)

③ 評議員会 4回

開催日	開催日
平成27年 5月28日(木)	平成28年 2月26日(金)
平成27年10月 8日(木)	平成28年 3月30日(水)

④ 監事監査 4回

開催日	開催日
平成27年 5月18日(月)	平成27年12月14日(月)
平成27年 8月28日(金)	平成28年 3月22日(火)

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を江別ふれあい福祉の広場開催時に表彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者数】 表彰 56人 感謝 7人

(3) ボランティア研修事業等への参加

①石狩地区ボランティアネットワーク協議会（主催：道社協）

【開催内容】

開催日 平成27年7月6日(月)

場 所 かでる 2. 7 (札幌市)
参加者数 2人
内 容 石狩管内社協におけるボランティア活動の情報交換について

②石狩地区ボラネットスキルアップ研修会 (主催：道社協)

【開催内容】

開 催 日 平成 2 7 年 9 月 6 日 (日)
場 所 北広島市石狩教育研修センター
北広島市総合体育館
参加者数 5人
内 容 ・ ボランティア祭り、元気フェスティバルの参加
・ 石狩管内ボランティア情報交換会

(4) 障がい児者施設の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、障がい児者施設の作品を総合社会福祉センターロビーにコーナーを設けて展示・販売しました。

【販売数】 ぼかし、固形石鹸、ポーチなど 合計 71点

(5) 福祉団体・ボランティア団体写真展の開催

江別ふれあい福祉の広場の開催に合わせ、福祉団体・ボランティア団体・施設などの活動をPRすることを目的に、平成27年7月19日(日)から26日(日)までの期間、総合社会福祉センターで写真展を開催し、45団体(前年度比3団体増)から出展がありました。

(6) 広報誌「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 8社 広告料 140,000円